



発行所 財団法人兵庫県消防協会
神戸市中央区下山手通4丁目16番3号
編集発行人 関山 巧
定価 1部44円
題字 井戸 知事

火は見てる
あなたが離れる
その時を

ゲーム感覚で学ぶ防災

「消防フェスタ in 皆勤橋」

市民の防災意識を高めようと「二〇〇七大ちゃんと学ぶ消防フェスタ in 皆勤橋」(以下「消防フェスタ」)が残暑厳しい八月十九日相生湾にて開催されました。

八幡保育所幼年消防隊の和太鼓による開催合図が響き渡ると、約三、〇〇〇人の方々が集まり「消防フェスタ」を楽しみました。

相生湾には、かつて造船所への通勤路として、対岸へと架かっていた浮橋「皆勤橋」がありました。これを湾上に再現した「ミニ皆勤橋走破競争」や「分

団対抗イカダレース」では、団員の体力訓練を兼ねた競技であったこともあり、観覧席から盛んな声援が送られました。その他、海上での「水難救助訓練」や子



幼年消防隊和太鼓による開催合図



分団対抗イカダレース

消防団自らが創る

「消防フェスタ」

兵庫県消防協会

相生港及び旭港湾公園にて開催された「消防フェスタ」に事務局からも参加させていただき



大ちゃんと学ぶ

今回が初めての開催となる「消防フェスタ」ですが相生市消防団をはじめ消防本部等関係者の方々は当日の朝まで準備に追われていました。そのかきもあつてか天候にも恵まれ、家族連れでの参加者も多く「消火訓練」や「放水体験」を体験したいと親にねだる子どもの姿も見られ、地域住民の消防団に対する認知度の向上と活動に対する理解を深める良い機会となったのではないのでしょうか。

また、「消防フェスタ」の開催にあたっては、一般団員や若手団員が中心となって企画・運営を行っているとのことで、ま



ミニ皆勤橋走破競争



バケツリレー競争

さには消防団自らが創りあげた「消防フェスタ」であり、団内の活性化にもつながったようです。

その他にも、管外の姫路市消防局、海上保安部の応援部隊も

消防団員確保への取り組み

芦屋市消防団

消防団は、大規模災害時や、有事における国民保護等の必要性から考えると、地域住民の安

心・安全を確保するため欠かせない組織で、大いに活躍が期待されています。しかし、依然として、団員数の減少に歯止めが掛からない状態のなか、総務省消防庁でも

全国に呼びかけ「消防団員入団促進キャンペーン」が行われています。

本団では芦屋市の広報紙に消防団員募集記事の掲載を定期的に行うほか、団員確保には、地域に親しみ住民と一体化した活動の展開が必要であるとの認識から、平成十九年五月二

消防団員確保への取り組み



最後に「消防フェスタ」の趣旨にご賛同・ご協力いただいた関係機関・事業所の皆様に、紙面からですが厚くお礼申し上げます。

(相生市消防団長 河合 勝)



「和のまち太子」

元揖保郡太子町消防団長
小山 猛



太子町は、聖徳太子ゆかりのまちとして、また、JR山陽本線、山陽新幹線、国道二号線が通る交通の要衝として発展してきた町です。

消防団の歴史は、昭和初期の「消防組」に始まり、戦争体制に入った頃より警防団に改められ、終戦後、市町村が管理する「消防団」が組織され、男子は

十八歳になれば皆消防団に入団する義務ありと認識していたものです。

昭和二十六年、町村合併により「太子町消防団」が発足し、団員数一〇五〇名、四〇分団の体制となり、その後、第一次消防団機構改革で、四機動、五三分団、四五七名とし、現在に至っています。明治・大正期より、腕押しポンプが各地区で常備され、その後エンジン付ポンプに移行してきましたが、設備としてはお粗末な状態で、消火・水防には多くの人力に頼るしかありませんでした。

消防体制の近代化のため、常備消防の設立が望まれ、昭和五六年に揖保消防本部が設置され、常備消防と消防団の役割分担が変化してきました。前述の第一次消防団機構改革が行われたの

が昭和五九年で、常備消防の充実と消防団員の定数減が拍車をかけたのか、住民の消防団に対する意識が薄れ始めた時期もこの頃のように思えます。しかし、いざ災害が発生すると常備消防だけではどうしようもなく、多くの消防団員の人力に頼らざるを得ないことが現実で、それは近年日本各地で起こった大災害をみても明らかです。

太子町では、一人でも多くの町民の皆様が消防団に対する理解と協力を呼びかけるため、消防本部の協力のもと、町民参加型の消防出初式を平成十八年から実施しています。式典に続きはしご乗り演技、各地に保存されている腕用ポンプでの放水、幼年消防クラブ員の演技、婦人防火クラブ員による炊き出しなどを行っています。

消防団の近代化のため、常備消防の設立が望まれ、昭和五六年に揖保消防本部が設置され、常備消防と消防団の役割分担が変化してきました。前述の第一次消防団機構改革が行われたの

消防団今昔

42

「団員一丸」

神戸市北消防団

山田支団長

木戸 崇好



一 はじめに

神戸市北消防団山田支団は、神戸市北区(面積:二四一、八四、人口:二二万人)のうち、市街地と農村部が混在する神戸市北区の南部区域一円(面積:九五、九一、人口:十四万人)を管轄しています。昭和二二年の消防団発足当時

は、神戸市山田消防団として十四分団、三三〇名、手引ガンソリポンプ二台、可搬式動力ポンプ十一台、三輪ポンプ自動車一台で構成されていましたが、昭和五八年一〇月に北区の八消防団が統合され神戸市北消防団山田支団と名称変更し、一四分団・班、三一五名、小型動力ポンプ・積載車一四台で活動しています。

二 九死に一生を得る？
私が昭和三八年に入団した当初の事で、四〇数年経った今でも忘れられない出来事をご紹介します。

私が所属する分団の管轄区域は急勾配の道路が多く、ある日火災出動で急な上り坂を走行中、三輪ポンプ車の前輪が浮き上がり『危ないっ』と思ったときに分団長の「早よう降り!」とい

う叫び声で、ステップにいた数人が飛び降りました。上り坂でスピードも落ちていたため、幸い怪我も無く火災現場に到着することができました。

また、菊水山の林野火災では消火作業に夢中になり、ふと気が付くと周りは炎で囲まれ、『火の海のご真ん中』でした。『あかんっ、焼け死ぬ』と思いました。分団長がよく言っていた「山火事るとき火に囲まれたら立ち木や雑草が燃え尽きている方向へ走るんやぞ。」という言葉を思い出して実践、九死に一生を得、山火事の怖さを痛感しました。この林野火災では神戸電鉄の鈴蘭台駅から菊水山駅(現在は廃止)まで、電車で小型動力ポンプ、ホース等器材を運んで消火活動を行なったところ、翌日の新聞には「消防電

車が走る」と写真入で記事が載ったことを覚えています。

私は、最新の消防技術を修得することはもちろん大切なことですが、先輩たちの体験してきた事を教訓として伝えることも重要だと考え、新入団員研修等では必ずこのような経験談を話すよう心がけています。

三 おわりに
時代は、昭和から平成に変わり、阪神・淡路大震災を機に「自分たちの町は自分たちの手で守ろう」という機運が高まりました。それまでは地域住民で組織する自主防災組織がありましたが、震災で得られた教訓をもとに、神戸市では市民、事業者、行政の協働により地域の福祉活動と防災活動との密接な連携を図りつつ、これらの活動を

機会を捉え、微力ながら消防団の重要性を訴えていきたいと思っています。



大正期から保存されている腕用ポンプ

吉谷式消防ポンプ自動車

営業品目

- 屈折梯子付消防ポンプ自動車
- 化学消防ポンプ自動車
- 水槽付消防ポンプ自動車
- 普通型消防ポンプ自動車
- 高発泡機付消防自動車
- 消防救助工作車
- 小型ポンプ積載車
- シバウラ小型動力消防ポンプ
- 各種消防用品
- 消防用ホース



株式会社 吉谷機械製作所

本社・工場 鳥取市古海 3 5 6 の 1
TEL (0857) 23-2211(代)
FAX (0857) 27-1766

美と力を備えた
新しいテクノロジーが
社会と暮らしを守り続けます。

安心を科学する
モリタです。

株式会社モリタ

本社 〒544-0003 大阪市生野区小路東5丁目5番20号
TEL06(6756)0119 FAX06(6756)3473
東京・大阪・名古屋・仙台・福岡・富山・松山



地 区 通 信

「丹波市消防団夏季訓練大会を実施!!」

丹波市消防団

丹波市消防団は、平成十六年十一月の合併以降、旧六町消防団を支援という位置付にし、市民の安全安心を守る活動を展開しています。昨年度は、合併後初めてとなる機構改革を実施し、三八分団・九五部・定数二、六九六名の組織となりました。本年度は、隔年で実施される

消防操法の間の年にあたっており、丹波市消防団としては水防工法・各種消火訓練など消防団の総合的な訓練を実施することとしており、七月八日(日)に市多目的用地にて消防技術の向上と団員相互の連携強化を主な目的とした夏季訓練大会を実施しました。

当日は心配していた天候も晴天に恵まれ、兵庫県消防防災航空隊の協力によるヘリコプターを使用した情報収集訓練・救助訓練も予定どおり実施することができました。訓練に参加した団員は、一人ひとりが問題意識をもって積極的に取り組み、実戦に生かせる実りある訓練大会となりました。今後も、藤本修作消防団長の掲げるモットー「明るく住みよいまちづくり」のため旺盛な郷土愛護の精神で各種訓練を重ねてまいります。

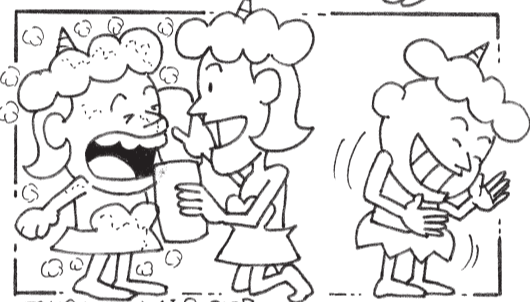
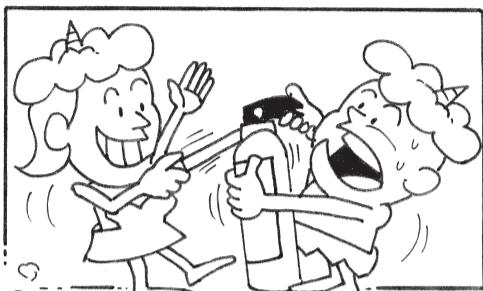


積み土嚢工法訓練



危険物火災消火訓練

消 火 器



TOKGA・HAN・AI 2007

尼崎市消防団

阿部 めぐみ
渡邊 有里子



渡邊 団員



阿部 団員

われら若手消防団員

(2)

入団当初はそんなに活動もなく、研修や行事の簡単なお手伝いだけでした。それでも何もかもが物珍しく、はじめはそれだけでも楽しかったのですが、先輩方の「もう少し積極的に活動したい」という雰囲気を感じたとき、私たちがそう思うようになりました。

現在の活動は、幼稚園での防火啓発活動(手作り紙芝居、オカリナ)、消防訓練の参加等です。男性が大多数の中、女性ならではの活動を行っています。活動していく中で、市民の方の喜びの声を聞くと、本当にやりがいを感じます。今は、防火啓発のネタ作りに励んでいます。これからは、もっと地域の催しに参加し、地域の方々へ防火を

呼びかけて行く計画です。派手な活動ではありませんが、防火を呼びかける事により「一人でも多くの命が助けられ」という熱い思いを胸にメンバーは頑張っております。

尼崎市消防団の女性消防団員は、皆、熱い気持ちをもって活動しています。毎回、私達の要望に応じて助けて下さる消防局の方々にも深く感謝しております。これからは、女性消防団員の存在をもっと知って頂き、地域の方々に愛される消防団を目指して頑張ります。



私たちががんばっています

わがまちの団長さん

147

「消防活動と地域活動」

太子町消防団

嶋澤 清美 団長



太子町は、兵庫県南西部、姫路市とたつの市の間に位置し、往古から山陽道が通過するなど、交通の要衝としてたえず先進的な文化を享受しながら、個性豊かに外に開かれた町です。太子町消防団の歴史は、昭和

九年、旧町村単位での消防組の結成に始まり、昭和二六年四月、町村合併により太子町消防団が発足しました。現在は五三分団、四五七名の体制で消防活動を行っています。

嶋澤団長は、昭和三四年に旧揖保郡新宮町消防団に入団、昭和四六年に太子町への転居を機に太子町消防団に入団されました。昭和五四年に副団長に就任され、二八年間、歴代団長の片腕として、予防活動や災害現場での指揮に当たってこられ、今年四月に前団長の退任を受け、団幹部・団員の総意により団長に就任されました。災害時には誰よりも早く現場に駆けつけ、現場の状況をすば

やく把握し、的確に団員へ指揮命令を発するなど、とても頼りがいのある団長です。そんな団長も活動服を脱ぐと畑へ向かい、季節の野菜を仲間とともに栽培し、「太子町市クラブ」で新鮮な野菜を地域の皆さんや学校給食に提供しています。その傍ら、自己の見識を広めるため、五年前より兵庫県いなみ野学園の地域活動養成講座で学ばれ、二年で卒業後、引き続き高年齢者の園芸科に在籍し、ボランティアと園芸などで、忙しい毎日を送られています。今後も地域の安全安心のため、活躍していただけるものと思っています。

地区通信

「緑あふれる安富の自然を守る消防団」

姫路市安富町消防団

「花とホテルのまち」姫路市安富町は姫路市の北西部に位置し、良材生産で全国的に植林樹として名声を博している「トミ

し、約二、〇〇〇世帯、五、八〇〇人の生命・身体・財産を守っています。

当消防団の火災業務、水防活動以外の主な活動としては、火災予防運動中や乾燥注意報発令時における火災警戒パトロール、水防訓練、夏季の消防訓練の実施、総合防災訓練・国民保護訓練への参加、年末火災特別警戒の自主防災組織への訓練指導など、日夜地域防災のリーダーとして活躍しています。

安富町消防団は昭和三六年に発足、平成十八年三月の市町村合併を経て現在、団本部及び一五分団、一九二人で組織され、消防ポンプ自動車五台、小型動力ポンプ積載車一〇台を配備しています。

まず、参加団員全員で土のうを作成、完成した土のうを使っ

て、三段積土のう工とせき板工を二班に分かれて実施しました。完成後、団長及び消防署長が各工法を視閲し、姫路西消防署長の訓練講評を受けて水防訓練を終了しました。

また、昨年七月の集中豪雨では、山間部において多数の土砂崩れが発生し、豪雨の中、団員は一致協力して、水防活動に奔走しました。

さらに、地域住民に対し積極的に防災指導を行っており、「消火栓操作実技講習会」もその一例であります。

初期消火が人命・財産を守る最重要事項であることから、誰もが町内に設置されている消火栓を操作できるように、婦人会や老人クラブの方々を中心に指導し、好評を得ています。

わが安富町には、昔から受け継がれ、守られてきた自然や先



消火栓を使った放水訓練 (自主防災会指導)



消防団員の放水訓練

人の遺産が多く残されています。豊かな自然と生活を火災から守るために、これからも日々、訓練を重ねていく所存であります。



安富町消防団・姫路西消防署 合同水防訓練

北から南から

「'07いなみ大池まつり」

稲美町消防団

夏も終盤に入りましたが、まだまだ厳しい残暑が続いています。

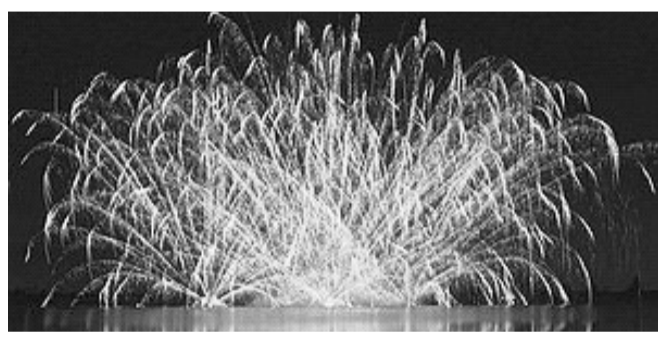
今年、岐阜県で国内史上最高の四〇・九度の猛暑となり、各地で熱中症により多数の方が死亡され、今後益々地球温暖化の影響があるのではないかと危惧しております。

さて、各地において花火大会・盆踊りの時期を向かえ、当町も八月十一日に兵庫県で一番大きなため池「加古大池」を会場として「'07いなみ大池まつり」が開催されました。

ため池の中堤にはたくさんのお屋敷や夜店が建ち並び、メイン会場では地域住民やボランティア

アの方々による模擬店が出店されます。いなみ大池花火大会の見どころは、ため池水面に映る花火と五〇〇mのナイヤガラの滝、水中花火、水上スターマイなど、水辺を活用した花火を満喫できます。

毎年大勢のお客さんでにぎわいますが、我が消防団は、水難事故・花火火災等の警戒警備として、二五〇名の消防団員が警備をし、安全な祭りに一役かっています。今まで水難事故はありませんが、花火が枯れ草に引火し、火災が発生することがあり、消防団員は放水・消火活動に活躍しています。今後も消火活動だけではなく、



いなみ大池花火大会

編集後記

暑さも和らぎ、時折さわやかな秋風を感じる今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。さて、今月号では相生市で開催されました「消防フェスタ」について掲載しております。また、芦屋市消防団による消防団員確保の取り組みについても一面にて紹介しております。

今回の消防団今昔には元太子町消防団長小山猛さん、神戸市北消防団山田支団長木戸崇好さんより寄稿いただきました。厚くお礼申し上げます。

【事務局からのお知らせ】「兵庫消防」一〇月号は休

刊させていただきます



- ・操法最適ホース : コンペVシリーズ
- ・小型動力ポンプ : ラビットダイヤモンドフジシリーズ
- ・小型動力ポンプ積載車(標準型・全自動型)
- ・消防ポンプ自動車(モリタ)
- ・消防用資機材全般

西垣消防器具製作所

669-5213 兵庫県朝来市和田山町玉置461

TEL:(079)672-3131

FAX:(079)672-3132

E-mail: fp-nishigaki@eagle.ocn.ne.jp



「こんにちは！兵庫の消防団です」



http://www.hyogoshoubou.jp/